

2025 年度
一般社団法人 日本作物学会 会員総会資料
(2025 年 3 月 28 日 日本大学)

一般社団法人 日本作物学会 会員総会次第

1. 会長挨拶
2. 2024 年度会務報告
3. 2024 年度会計報告
4. 2024 年度会計監査報告
5. 2025 年度事業計画報告
6. 学会の将来財政ならびに会員数減少に対する検討方針
7. 和文誌編集委員会の業務簡素化についての検討方針
8. 名誉会員の承認
9. 2025 年度予算報告

一般社団法人 日本作物学会 会員総会資料目次

1. 2024 年度会務報告
2. 2024 年度会計報告
3. 2024 年度会計監査報告
4. 2025 年度事業計画報告
5. 学会の将来財政ならびに会員数減少に対する検討方針
6. 和文誌編集委員会の業務簡素化についての検討方針
7. 名誉会員の承認
8. 2025 年度予算報告

1. 2024 年度会務報告

1 幹事会

- (1) 2024 年 2 月 17 日に 2023 年度第 2 回幹事会がオンライン会議で開催された。
- (2) 2024 年 7 月 27 日に 2024 年度第 1 回幹事会がオンライン会議で開催された。

2 代議員総会

- (1) 2024 年 3 月 27 日に定時代議員総会が三重大学生物資源学部において開催された。
- (2) 2024 年 9 月 19 日に臨時代議員総会がオンライン会議で開催された。

3 総会

2024 年 3 月 27 日に三重大学生物資源学部において開催された。

4 講演会

- (1) 第 257 回講演会が 2024 年 3 月 28 日・29 日に三重大学で開催された。
- (2) 第 258 回講演会が 2024 年 9 月 26 日・27 日に岡山大学で開催された。

5 会員数および入退会等状況

会員入・退会状況及び会員数									2024年12月31日現在
	正会員					団体会員	賛助会員	名誉会員	合計
	一般会員	学生会員	海外会員	終身会員	小計				
2023年度末	762	193	12	36	1,003	77	8	21	1,109
2024年度入会	34	126	5	0	165	0	0	0	165
2024年度退会	48	80	1	0	129	5	0	2	136
2024年度末	748	239	16	36	1,039	72	8	19	1,138
増減	▲ 14	46	4	0	36	▲ 5	0	▲ 2	29

6 出版部（部長 新田洋司 氏）

- (1) 出版部企画「作物のふしぎ（仮題）」（化学同人）について
- (2) 「作物栽培大系」（朝倉書店）および「雑穀の百科事典」について
- (3) その他の企画について

7 和文誌編集委員会（委員長 青木直大 氏）

- (1) 投稿論文の審査，日本作物学会紀事第 93 巻（第 1～4 号）の刊行。
- (2) 論文賞候補論文の推薦。
- (3) 編集委員会をオンラインで開催
- (4) 100 周年記念号について検討
- (5) オンライン審査システムの導入について検討

8 英文誌編集委員会（委員長 柏木純一 氏）

- (1) 投稿論文の審査，Plant Production Science 第 27 巻（第 1～4 号）の刊行。
- (2) 論文賞候補論文の推薦。

9 学会賞選考委員会（委員長 新田洋司 氏）

- (1) 2025 年度日本作物学会賞（第 69 回），日本作物学会研究奨励賞（第 29 回），日本作物学会技術賞（第 15 回），日本作物学会論文賞（第 22 回），
 - (2) 日本作物学会第 257 回、第 258 回講演会優秀発表賞
 - (3) 令和 7 年度日本農学賞候補者，その他の賞の候補者の推薦
- 日本作物学会賞（第 69 回）
- 1) イネの高温障害を軽減する開花時刻と登熟に関する生理生態的研究
石丸努（農研機構中日本農業研究センター）
 - 2) イネ深水栽培の展開に必要な生理生態学のおよび形態学的特性の評価
大江真道（大阪公立大学大学院農学研究科）

日本作物学会研究奨励賞（第 29 回）

1) 水田転換畑におけるコムギとダイズの収量と品質の安定化に関する研究

村田資治（山口県農林総合技術センター）

日本作物学会技術賞（第 15 回）

1) データ駆動型スマート農業技術を活用した営農管理と収量の「見える化」による大規模経営体における水稻栽培・作付体系の改善

石川哲也¹⁾・清水ゆかり²⁾・吉永悟志²⁾

(¹⁾ 元農業・食品産業技術総合研究機構中日本農業研究センター, (²⁾ 農業・食品産業技術総合研究機構中日本農業研究センター)

日本作物学会論文賞（第 22 回）

1) 逆転ロータリを活用した一工程浅耕播種による北部九州における気象リスク下でのダイズの減収抑制効果

松尾直樹・中野恵子・大段秀記・深見公一郎・高橋仁康 日本作物学会紀事 92 (2) : 161-172

2) イネにおける斑点米カメムシに対する抵抗性品種育成の現状

杉浦和彦・中村充 日本作物学会紀事 92 (3) : 199-208

3) 葉の CO₂ 同化速度の簡便迅速測定システムの開発

本田爽太郎・大久保智司・新家寿建・秋山重之・青木直史・田中佑・安達俊輔 日本作物学会紀事 92 (4) : 289-299

4) Rapid evaluation of leaf photosynthesis using a closed-chamber system in a C₄ plant, sugarcane

Hiroo Takaragawa & Hiroshi Matsuda Plant Production Science 26 (2): 174-186

5) Monitoring spatial and time-series variations in red crown rot damage of soybean in farmer fields based on UAV remote sensing

Shuhei Yamamoto, Shuhei Nomoto, Naoyuki Hashimoto, Masayasu Maki, Chiharu

Hongo, Tatsuhiko Shiraiwa & Koki Homma Plant Production Science 26 (1): 36-47

6) Rice plants exhibit increased chilling tolerance and oligosaccharide production after acclimation

Yoshiyuki Sagehashi Plant Production Science 26 (3): 287-296

第 257 回講演会優秀発表賞

口頭発表部門

1) 赤羽根健生（東洋大学大学院生命科学研究科）

イネの玄米収量を向上させる TGW6 阻害剤の探索

2) 後藤優作（東京大学大学院農学生命科学研究科）

東ティモール小規模農家圃場における直播稲作と移植稲作の収量および生産コストの比較

3) 岡村幸輝（東洋大学大学院生命科学研究科）

根圏の鉄栄養がムギネ酸類の合成・分泌に及ぼす影響

4) 加藤優太（名古屋大学大学院生命農学研究科）

C₄植物における葉緑体凝集運動の葉切片ライブイメージングによる解析

5) 安藤詩織（名古屋大学大学院生命農学研究科）

X線マイクロCTを用いたイネ小花の開閉を駆動する鱗被形態の経時解析

ポスター発表部門

1) 松村悠生（北海道大学大学院農学院）

節間伸長期の個体間競合が多穂型トウモロコシ品種のシンク形成・発達に及ぼす影響

2) 原澤侑里（北海道大学農学部）

衝撃弾性波法を用いた飼料用トウモロコシにおける強稈性の品種間比較

3) 勝濱直椰（東京大学大学院農学生命科学研究科）

細胞膜プロトン-ATPase の局在制御による植物生産性の向上に向けて

- 4) 岩瀬颯太 (信州大学総合理工学部農学専攻)
低酸素条件下における雑穀 4 種の通気組織形成へのエチレンの関与
- 5) 岡田岳之 (農研機構)
普通ソバの主要アレルゲンである 13S グロブリンの解析
第 258 回講演会優秀発表賞
口頭発表部門
- 1) 千装公樹 (農研機構作物研究部門)
多系交雑に由来する極長稈イネ「モンスターライス系統」のゲノム構成
- 2) 水田圭祐 (香川大学農学部)
止葉抽出期における窒素の可変施肥が「さぬきの夢 2009」の子実タンパク質含有率に及ぼす影響
- 3) 小野みいな (愛媛大学大学院農学研究科)
茎数制限処理がハダカムギの硝子率およびその変異に及ぼす影響
- 4) 甲斐圭悟 (名城大学大学院農学研究科)
湛水環境下で形成される不定根や二次通気組織が繊維作物のケナフ (*Hibiscus cannabinus* L.) とジュート (*Corchorus capsularis* L.) の生育に及ぼす影響
- 5) 鈴木健介 (名城大学大学院農学研究科)
drp イネ突然変異体を用いた地上部生長に及ぼすガスフィルムの生理的効果の検証
ポスター発表部門 (講演番号順)
- 1) SARI Allice (東京大学大学院農学生命科学研究科)
Characterizing arbuscular mycorrhizal fungi colonization of pearl millet genotypes in different environments
- 2) 古賀美羽 (北海道大学農学院)
異なる窒素条件における生物的硝化抑制 (BNI) 能強化コムギの窒素吸収特性と収量性の評価
- 3) 佐藤紀之 (九州大学大学院生物資源環境科学府)
ダイズの葉における日長依存的な遺伝子発現の不均一化が及ぼす結莢への影響
- 4) 御厨志乃 (九州大学大学院生物資源環境科学府)
ササゲの根におけるアブシジン酸を介した浸透圧調節
- 5) 菅波眞央 (福島大学食農学類附属発酵醸造研究所)
全ゲノム配列比較だけで自然突然変異体の原因遺伝子を同定する *in silico* アプローチの提案
- 10 シンポジウム委員会 (委員長 加藤洋一郎 氏)
1. 第 258 回講演会 (2024 年秋岡山) シンポジウム実施 (94 巻 1 号 90-93 にて報告)
 2. 日本農学会シンポジウム (2024) にて当学会推薦の辻本会員 (辻本泰弘氏) が登壇
 3. 第 260 回講演会 (2025 年秋新潟) シンポジウム企画準備と科研費申請
 4. 日本農芸化学会と日本作物学会の共催シンポジウム準備 (2025 年 3 月@札幌)
- 11 海外交流推進委員会 (委員長 三屋史朗 氏)
1. 第 257 回日本作物学会講演会にてミニシンポジウムを開催
 2. 若手研究者海外学会出席助成の審査
 3. その他の海外交流推進活動.
- 12 広報・社会貢献委員会 (委員長 阿部淳 氏)
1. 新ホームページ等の運営
- 13 講演会企画委員会 (委員長 荒木英樹 氏)
1. 第 257 回から第 259 回講演会の開催準備
 2. 第 257 回および第 258 回講演会における対面会議
 3. 法人化に対応した会計体制の構築
 4. (関連事項) シンポジウム関連の旅費支払体制の整備

- 14 ダイバシティ推進委員会
 1. 委員会会議の開催
 2. 学会員構成の把握
 3. その他、委員会での検討
- 15 100周年記念事業準備委員会
 1. 委員会の開催（メール会議）
 2. 100周年記念レビュー集の準備
 3. 土壌肥料学会との合同シンポジウム企画
 - 9月11・12日（土・日） 日本作物学会講演会（@摂南大学）
 - 9月13日（月） 合同シンポジウム（@京都大学）
 - 9月14-16（火-木） 日本土壌肥料学会講演会（@京都府立大学）
- 16 将来ビジョンワーキンググループ
 1. ワーキンググループ会合の開催
 2. Google フォームにて全学会員を対象とするアンケートを実施
- 17 財政検討ワーキンググループ

- 18 日本学術会議
報告事項なし
- 19 （一社）日本農学会
 1. 第95回日本農学大会の開催.
 2. 2024年度日本農学会シンポジウムの開催.
 3. 加盟学協会調査
- 20 日本技術者教育認定機構（JABEE）
 1. web 会議の開催

2. 2024年度会計報告

2024年度決算報告書

2024年12月31日

1. 一般会計

<収入>

前年度繰越金	15,607,972
2024年度収入	21,195,702
計	36,803,674

<支出>

2024年度支出	24,003,240
次年度繰越金	12,800,434
計	36,803,674

単年度収支

2024年度収入(21,195,702)－2024年度通常会計支出(24,003,240)＝▲2,807,538

内訳

項目	2024年度予算	2024年度決算	差額
収入合計	24,169,422	21,195,702	-2,973,720
1. 会費	10,256,000	9,504,000	-752,000
(1) 一般会員	9,986,000	9,294,000	-692,000
(2) 賛助会員	270,000	210,000	-60,000
2. 著者負担金	6,066,967	4,251,220	-1,815,747
3. 雑収入	783,100	991,165	208,065
(1) バックナンバー売上	20,000	10,000	-10,000
(2) 講演要旨集売上	58,000	28,000	-30,000
(3) 諸資料売上	0	0	0
(4) 利子・その他	705,100	953,165	248,065 a
4. 科学研究費補助金	4,158,355	3,055,317	-1,103,038
5. 講演会収入	2,905,000	3,394,000	489,000
(1) 春季講演会	0	0	0
(2) 秋季講演会	2,905,000	3,394,000	489,000
支出合計	24,037,215	24,003,240	-33,975
1. 学会誌刊行費	13,264,797	13,336,010	71,213
(1) 直接刊行費	12,553,592	12,517,100	-36,492
(2) 送料	463,705	571,410	107,705
(3) 電子ジャーナル(J-Stage)	247,500	247,500	0
(4) 投稿審査システム(J-Stage)	0	0	0
2. 編集委員会経費	567,398	278,225	-289,173
(1) 英文誌	242,500	96,000	-146,500 b
(2) 和文誌	324,898	182,225	-142,673 b
3. 講演会経費	4,410,427	4,863,592	453,165
(1) 春季講演会	350,000	350,000	0
(2) 秋季講演会	3,163,500	3,411,502	248,002
(3) 講演要旨集購入費	648,927	740,850	91,923
(4) 演題登録システム費	248,000	361,240	113,240
(5) 講演会託児所経費	0	0	0
(6) その他	0	0	0
4. 会長裁量経費	100,000	211,550	111,550
5. 事務局経費	4,002,553	4,393,459	390,906
(1) 事務通信費	468,253	720,918	252,665
(2) 会議費	10,000	15,600	5,600
(3) 旅費	50,000	142,011	92,011
(4) 印刷費	50,000	0	-50,000
(5) 会員管理システム経費	234,300	242,880	8,580
(6) 人件費	0	0	0
(7) 事務委託費	3,190,000	3,190,000	0
(8) その他	0	82,050	82,050
6. 出版部経費	0	0	0 b
7. 雑経費	725,000	693,604	-31,396
(1) 農学会分担金	100,000	137,400	37,400
(2) 地域談話会補助金	450,000	400,000	-50,000
(3) 農学会委員会経費	0	0	0
(4) 諸資料購入費	0	0	0
(5) 学術会議関連費	0	0	0
(6) JABEE関連経費	150,000	150,000	0
(7) サーバーレンタル料	25,000	6,204	-18,796
8. シンポジウム委員会経費	690,000	214,800	-475,200 b
9. 学会賞選考委員会経費	27,000	0	-27,000 b
10. 海外交流推進委員会経費	153,000	12,000	-141,000 b
11. 広報委員会経費	97,040	0	-97,040 b

a. 「2024年度 利子その他の内訳」参照

b. 2024各種委員会決算参照

2024年度 特別会計

2024年12月31日

(1) 学会賞基金

項目	収入	支出
前年度繰越金	382,249	
利息	18	
メダル代(技術賞)自己負担購入	0	
メダル代(学会賞・奨励賞・技術賞)		193,494
送金手数料		660
合計	18	194,154
次年度繰越金		188,113
合計	382,267	382,267

(2) 海外交流基金

項目	収入	支出
前年度繰越金	92,537	
利息	6	
合計	6	0
次年度繰越金		92,543
合計	92,543	92,543

(3) 事務局運営改善準備金

項目	収入	支出
前年度繰越金	8,615,311	
利息	612	
送金手数料		770
合計	612	770
次年度繰越金		8,615,153
合計	8,615,923	8,615,923

(4) PPS海外投稿促進費

項目	収入	支出
前年度繰越金	181,224	
利息	0	
通信費		0
合計	0	0
次年度繰越金		181,224
合計	181,224	181,224

特別会計繰越金一覧

2024年12月31日

	口座管理	繰越額
(1) 学会賞基金	事務局	188,113
(2) 海外交流基金	事務局	92,543
(3) 事務局運営改善準備金	事務局	8,615,153
(4) PPS海外投稿促進費	事務局	181,224
	合計	9,077,033

3. 2024年度会計監査報告


会計監査報告書


一般社団法人 日本作物学会

代表理事 大川泰一郎 殿

2025年2月6日

日本作物学会会計監査

監事 島山 友翔 

監事 水田 圭祐 

本会 定款第47条 に定めるところに従い

① 2024年度本会の決算（自20240101—20241231）

② 科学研究費 国際情報発信強化費の決算

2024年度（自2024/04/01～2024/12/31）中間

について、オンライン会合 Google Meet において監査を実施しました。足立会計幹事より提示された口座残高証明書、証憑、その他の会計書類及び現金について、Google Meet における口頭での質疑応答を交えながら調査し、帳簿などは正確に記載され、誤りなく出納されていることを確認いたしました。

以上をここにご報告申し上げ、会計幹事の労に対して深く感謝の意を表したいと思っております。

4. 2025 年度事業計画報告

1 代議員総会

2025 年 3 月 8 日に、オンライン会議で開催する。2024 年度活動報告，2024 年度会計決算報告，会計監査報告，2025 年度事業計画案，2025 年度予算案等を審議する。

2 総会

2025 年 3 月 28 日に、日本大学生物資源科学部湘南キャンパスで開催する。2025 年 3 月 8 日開催の代議員総会で承認・可決された事項を説明する。引き続き、日本作物学会賞（2 件），研究奨励賞（1 件），技術賞（1 件）および日本作物学会論文賞（6 題）の表彰を行う。

3 講演会

(1) 第 259 回講演会（運営委員長 磯部勝孝 氏）：2026 年 3 月 28 日・29 日に日本大学で開催

(2) 第 260 回講演会（運営委員長 山崎将紀 氏）：2026 年 9 月 21 日・22 日に新潟大学で開催

4 出版部

(1) 出版部企画図書「農作物のひみつ 毎日の食事が楽しくなる、おもしろ雑学」の販売促進

(2) 作物栽培大系（朝倉書店）、雑穀の百科事典（朝倉書店）の執筆・編集

(3) 新企画について引き続き審議する。

5 和文誌編集委員会

(1) 投稿論文の審査，日本作物学会紀事第 94 巻（第 1～4 号）の刊行。

(2) 和文誌論文賞（第 23 回）の候補論文の選定。

(3) 編集委員会の開催。

(4) 100 周年記念号について検討する。

(5) オンライン審査システムの導入について検討する。

6 英文誌編集委員会

(1) 投稿論文の審査，Plant Production Science 第 27 巻（第 1～4 号）の刊行。

(2) PPS 論文賞の候補論文の選定。

(3) 編集委員会の開催

(4) 100 周年記念事業準備委員会との連携（記念レビューの発行に向けて）

(5) 研究成果公開促進費（国際情報発信強化）への対応

7 学会賞選考委員会

(1) 2026 年度日本作物学会賞(第 70 回)，日本作物学会技術賞(第 16 回)，日本作物学会研究奨励賞(第 30 回)，日本作物学会論文賞(第 22 回)，日本作物学会第 259 回，260 回講演会優秀発表賞の選考。

(2) 日本農学賞（日本農学会），日本農学進歩賞（農学会），育志賞（日本学術振興会），ほか各種団体からの学術賞の推薦。

8 シンポジウム委員会

1. 日本農芸化学会との共催シンポジウム開催（2025年3月7日9:00～11:30@札幌コンベンションセンター）「持続可能な農業の未来へ：農業生産の化学と革新的アプローチの融合」
2. 第259回講演会（2025年春日大）におけるミニシンポジウム開催（2件）
3. 第260回講演会（2025年秋新潟大）におけるシンポジウムの開催
4. 第261回講演会（2026年春高崎健康福祉大）におけるミニシンポジウムの公募
5. 第261回講演会におけるシンポジウム委員会企画検討（100周年プレ、共催）
6. 第262回講演会（2026年秋@北海道）におけるシンポジウム企画調整と、これに関連した2026年度科学研究費助成事業（研究成果公開促進費）の申請
- 9 海外交流推進委員会
 - (1) 第259回日本作物学会講演会でのミニシンポジウムを開催予定
 - (2) 若手研究者海外学会出席助成の審査
 - (3) 韓国作物学会、台湾農芸学会とのMoU
 - (4) 会議の開催（第259回日本作物学会講演会、ACSAC11会期中）
- 10 広報・社会貢献委員会
 - (1) 新ホームページ等の運営
 - (2) 委員の役割分担の再確認、アウトリーチ活動の直し
- 11 講演会企画委員会
 - (1) 第259回および第260回講演会の開催準備
 - (2) 第259回および第260回講演会における対面会議
 - (3) 財務関連の諸問題への対応（配分予算の削減の可否およびその対応等）
 - (4) 各種委員会からの講演会関連提案事項への対応
- 12 ダイバシティ推進委員会
 - (1) 委員会会議（3月28日 日本大学、9月21日 新潟大学）、オンライン会議の適宜開催
- 13 100周年記念事業準備委員会
 - (1) 代議員総会で講演会開催予定の変更と土壌肥料学会との合同シンポジウムについて提案
 - (2) 委員会の開催
 - (3) 土壌肥料学会との打ち合わせ
- 14 将来ビジョンワーキンググループ
 - (1) 2024年度に実施するオンラインアンケート結果のとりまとめ
 - (2) 答申作成に向けたワーキンググループミーティングの開催と答申の作成
 - (3) 2026年3月答申
- 15 日本学術会議
審議事項なし
- 16 （一社）日本農学会
 - (1) 第96回日本農学大会の開催.
 - (2) 2025年度日本農学会シンポジウムの開催.

(3) (公財)農学会と2025年度第24回日本農学進歩賞を共催。その他、シンポジウム等を共催・後援。

(4) 会議の開催：総会（日本農学賞・読売農学賞の選考会を含む）；運営委員会・理事会；2025年度企画委員会；2026年度企画委員会

(5) 加盟学協会への依頼・調査等

17 日本技術者教育認定機構（JABEE）

(1) JABEE および（公財）農学会の JABEE 関係事業の担当を継続。

(2) 審査員養成研修会への参加者を募集し、審査員候補者数を確保。

(3) 審査員候補者の JABEE 認定審査会へのオブザーバー参加および審査員の JABEE 認定審査会への積極的な派遣。

18 幹事会

会務執行につき随時開催

19 今後の学会講演会について

第259回講演会 2025年3月28日、29日 日本大学（磯部勝孝 運営委員長）

第260回講演会 2025年9月21日、22日 新潟大学（山崎将紀 運営委員長）

第261回講演会 2026年 春 高崎健康福祉大学

第262回講演会 2026年 秋 酪農学園大学

第263回講演会 2027年 春 東北大学（現在調整中）

第264回講演会 2027年 秋 摂南大学（現在調整中）

5. 学会の将来財政ならびに会員数減少に対する検討方針

日本作物学会の総資産は、15年前の半分にまで減少し、一般会計、特別会計ともに繰越金を年々減らしている状況にある。さらに、科学研究費補助金が予算収入に含まれており、補助金が採択されなかった場合に、資産・繰越金はさらに大きく減少するリスクを含んでいる。このままの状況が続けば、学会の財政は破綻することが予想される。同時に、会員数の減少は、学会の総資産減少の要因の一つであり、少しでも歯止めをかけることが求められる。会計幹事、財政検討ワーキンググループから、こうした実情が報告された。これを受けて執行部がこれらを解決するための対策について代議員から広く意見聴取を行い、内容に応じて各種委員会での検討を求めたうえで、今年度の臨時代議員総会、次年度の定期代議員総会に諮っていくこととした。

6. 和文誌編集委員会の業務簡素化についての検討方針

2025年中にオンライン審査システムを導入することとした。ScholarOne Manuscript (S1M) と Editorial Manager (EM) を比較したところ、投稿論文1編あたりで利用料が決まる EMの方が、投稿論文数を気にする必要がなく、システム導入後の運用コストを考えるとメリットがあると思われることから、EMを採用する方向で検討している。

7. 名誉会員の承認

三宅 博 氏（日本作物学会東海談話会）

山岸 順子 氏（日本作物学会関東談話会）

8. 2025年度予算報告

2025年度予算(案)

科 目	2024年度決算	2025年度予算	差額	備 考
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
①特別会計運用収入	636	630	△ 6	
特別会計利子収入	636	630	△ 6	
②会費収入	9,504,000	10,010,000	506,000	
一般会員会費収入	9,294,000	9,800,000	506,000	徴収目標95%
賛助会員会費収入	210,000	210,000	0	
③事業収入	4,251,220	6,001,700	1,750,480	
著者負担金収入	4,251,220	6,001,700	1,750,480	最近3か年平均×徴収目標95%
④学著協複写料・関連収入	140,944	228,030	87,086	
⑤雑収入	850,221	181,840	△ 668,381	
預貯金利息	447	440	△ 7	
広告掲載料	125,400	125,400	0	
出版物売上ほか	724,374	56,000	△ 668,374	講演会残金寄付終了による減額
⑥科学研究費補助金	3,055,317	3,800,000	744,683	
⑦講演会収入	3,394,000	8,095,500	4,701,500	
春季講演会(第259回)	0	4,458,000	4,458,000	
秋季講演会(第260回)	3,394,000	3,637,500	243,500	
事業活動収入合計 (A)	21,196,338	28,317,700	7,121,362	
2.事業活動支出				
①事業費支出	19,803,275	25,263,790	5,460,515	
i 学会誌刊行費	13,336,010	13,888,895	552,885	
(1)直接刊行費	12,517,100	13,140,158	623,058	和文誌オンライン査読システム費用(特会)含む
(2)送料	571,410	501,237	△ 70,173	
(3)電子ジャーナル(J-Stage)	247,500	247,500	0	
ii 編集委員会経費	278,225	392,500	114,275	
(1)英文誌	96,000	342,500	246,500	
(2)和文誌	182,225	50,000	△ 132,225	
iii 講演会経費	4,863,592	8,222,670	3,359,078	
(1)春季講演会(第259回)	350,000	3,878,275	3,528,275	
(2)秋季講演会(第260回)	3,411,502	3,413,575	2,073	
(3)講演会要旨集購入費	740,850	732,820	△ 8,030	
(4)演題登録システム費	361,240	198,000	△ 163,240	
(5)その他	0	0	0	
iv 会長裁量経費	211,550	100,000	△ 111,550	
v 出版部経費	0	500,000	500,000	出版部企画書籍 買取経費(特会)
vi シンポジウム委員会経費	214,800	600,000	385,200	
vii 学会費選考委員会経費	193,494	262,258	68,764	
(1)学会賞選考委員会	0	27,000	27,000	
(2)学会賞メダル等(特別会計経費)	193,494	235,258	41,764	※講演会経費から移動
viii 海外交流推進委員会経費	12,000	153,000	141,000	
ix 広報・社会貢献委員会経費	0	0	0	
x ダイバシティ推進委員会経費	0	250,000	250,000	※新設 講演会託児室経費
xi ACSA事務局経費	0	240,000	240,000	※新設 秘書人件費
vii 雑経費	693,604	654,467	△ 39,137	
(1)農学会分担金	137,400	104,467	△ 32,933	
(2)支部会補助金	400,000	400,000	0	
(3)農学会委員会経費	0	0	0	
(4)諸資料購入費	0	0	0	
(5)学術会議関連費	0	0	0	
(6)JABEE関連経費	150,000	150,000	0	
(7)サーバーレンタル料	6,204	0	△ 6,204	
②管理費支出(事務局経費)	4,394,889	4,213,910	△ 180,979	
(1)事務通信費	722,348	576,271	△ 146,077	
(2)会議費	15,600	10,000	△ 5,600	
(3)旅費	142,011	100,000	△ 42,011	
(4)印刷費	0	30,712	30,712	
(5)会員管理システム経費	242,880	236,427	△ 6,453	
(6)人件費	0	0	0	
(7)事務委託費	3,190,000	3,190,000	0	
(8)法人経費	12,050	500	△ 11,550	
(9)法人住民税	70,000	70,000	0	
(10)その他	0	0	0	
事業活動支出合計 (B)	24,198,164	29,477,700	5,279,536	
当期収支差額 (A)-(B)	△ 3,001,826	△ 1,160,000		※差額は特別会計支出
前期繰越金 (C)	24,879,293	21,877,467		一般会計+特別会計
次期繰越金 (A)-(B)+(C)	21,877,467	20,717,467		一般会計+特別会計

※資金の範囲は流動資産及び流動負債である。

2025年度 各種委員会 予算案 (委員会等の頭の番号は支出項目の項目番号に対応)

(1)	ii (1) 編集委員会 英文誌	2024年度決算	2025年度予算
支出	会議費	0	10,000
	印刷費	0	10,000
	旅費	0	100,000
	通信費	0	2,500
	人件費	0	0
	英文校閲委託費	0	0
	海外エディター会費	96,000	120,000
	著者負担金	0	100,000
	支出計	96,000	342,500
(2)	ii (2) 編集委員会 和文誌	2024年度決算	2025年度予算
支出	ミニレビュー印刷費	178,200	0
	会議費	0	10,000
	事務費	4,025	20,000
	旅費	0	0
	通信費	0	10,000
	人件費	0	10,000
	その他	0	0
	支出計	182,225	50,000
(3)	v 出版部	2024年度決算	2025年度予算
支出	論文掲載料	0	0
	出版補助	0	500,000 a
	事務・通信費	0	0
	支出計	0	500,000
			a : 特別会計から支出
(4)	vi シンポジウム委員会	2024年度決算	2025年度予算
支出	シンポジウム開催経費		
	講師謝金・旅費	157,600	530,000
	運営委員会経費	29,460	10,000
	昼食代(講演者・シンポ委員会)	0	10,000
	参加・懇親会招待費	24,000	30,000
	シンポジウム委員会経費		
	事務通信費	3,740	10,000
	会議費	0	10,000
	ミニシンポジウム開催経費	0	0
	支出計	214,800	600,000
(5)	vii 学会賞選考委員会	2024年度決算	2025年度予算
支出	会議費	0	0
	事務・通信費	0	27,000
	謝金	0	0
	その他	0	0
	学会賞メダル等 (特別会計経費)	0	235,258
	支出計	0	262,258
(6)	viii 海外交流推進委員会	2024年度決算	2025年度予算
支出	会議・旅費	6,000	5,000
	事務・通信費	0	3,000
	ACSA運営経費	0	40,000
	ミニシンポ開催費	6,000	100,000
	その他	0	5,000
	支出計	12,000	153,000
(7)	ix 広報・社会貢献委員会経費	2024年度決算	2025年度予算
支出	アウトリーチ活動費	0	0
	英文校閲費	0	0
	通信費	0	0
	学会新ホームページ作成費	0	0
	その他	0	0
	支出計	0	0
(8)	x ダイバシティ推進委員会経費	2024年度決算	2025年度予算
支出	講演会託児室経費	0	250,000
	支出計	0	250,000
(9)	xi ACSA事務局経費	2024年度決算	2025年度予算
支出	事務局人件費	0	240,000
	支出計	0	240,000